

重点項目 5

高齢者にも優しい医療と福祉の充実

- ◎主な取り組み
 - 市民病院にがんの緩和ケア外来の開設
 - 新規開業する医師への開業支援
 - がん患者補正具購入費助成による負担軽減
 - 医療・介護・福祉が連携した地域包括システムの構築
 - 訪問看護ステーション体制強化の支援

重点項目 7

安心・安全で快適な暮らしやすい環境の整備

- ◎主な取り組み
 - 特定空家等への適切な措置
 - デジタル同報無線システムの導入
 - 新し尿処理施設の整備
 - 新ごみ処理施設稼働に向けた準備
 - ごみの分別収集、減量化、資源化を推進

重点項目 6

市民ファーストの推進

- ◎主な取り組み
 - 快適かつ円滑な行政手続き
 - 市民目線に立つて、駐車スペースや窓口カウンターを改善
 - 旧中央公民館を庁舎として利活用
 - コンビニ収納の開始に向けた準備
 - 住宅リフォーム支援事業の継続

庁舎として利活用される旧中央公民館 →



- あきた北空港IC(仮称)～鷹巣ICの開通予定
- 新鷹巣浄水場の整備
- 市営住宅の計画的な建替え(南鷹巣団地)
- 市民の憩いの場として、慶祝森林自然公園を整備

重点項目 3

少子化対策・子育て支援

- ◎主な取り組み
 - 結婚新生活支援事業補助金の創設
 - あきた結婚支援センターの登録料助成
 - 不妊治療費及び不育症治療費の助成
 - 母子の健康を守るため、妊娠期から産後の妊婦健診と母乳育児相談への対応
 - 乳幼児から中学生までの医療費無料化
 - 保育施設整備や人材確保で保育の質向上
 - 公立保育園の民営化を検討
 - 「食育の充実」「地産地消」「食文化の伝承」の普及啓発
 - 小中学校適正規模・配置再編プランに基づき、老朽化した学校施設・設備に対応
 - 一人一人の子どもに目が行き届く、きめ細かな指導を実践し、確かな学力を定着

重点項目 4

新たな地域社会の形成・子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち

- ◎主な取り組み
 - 市民ふれあいプラザを拠点に憩い・交流・賑わいを創出
 - 将来まで持続可能な公共交通体系を構築
 - 自主防災組織の育成と活動支援
 - 地域の実情に即したきめ細かな除排雪
 - 消防資源を最大限に有効活用し、市民の安全を確保

市民ふれあいプラザ1周年記念事業に多くの市民 →



← 自主防災組織(下新町自治会)の火災想定訓練

各課の主な施策と事業等 ※年度の元号はすべて平成

都市計画課

- ▽ 既存企業の事業拡大や人材育成などの支援継続と、新規起業家への支援制度の充実を図る。
- ▽ 利子補給制度を継続し、地域経済の活性化につなげる。
- ▽ 中心市街地の空き店舗情報の提供及び新規出店者へ開業支援を行い、空き店舗の解消を図り、定期的なイベントの開催により、商店街の活性化を支援する。
- ▽ 日本三大樹氷の共同宣言をした森吉山の樹氷は、台湾を中心にインバウンドが好調で、さらに映像素材を活用した情報発信に努める。
- ▽ 安の滝などの受入環境の整備に取り組む。
- ▽ クウインズ森吉の簡易宿泊所の整備や打当温泉マタギの湯のどぶろく工場の整備といった施設の多機能化や機能強化を講じ、魅力的かつ効率的な運営に努める。
- ▽ 地域連携DMO「秋田犬ツーリズム」をはじめ、様々な関係機関と連携し、県外やインバウンドなどの遠隔地から域内への誘客を図り、域内の市町村がそれぞれの特徴を生かせるよう努める。

- ▽ あきた北空港IC(仮称)～鷹巣IC間が開通する予定になっているほか、鷹巣西道路、二ツ井今泉道路も早期開通に向けて要望活動に努める。
- ▽ 南鷹巣団地建替え事業は、引き続き計画的な建替えを実施する。
- ▽ 住宅リフォーム支援事業により、市民の居住環境の向上と地域経済の活性化を図る。
- ▽ 移住者住宅支援事業は、子育て世帯の区分を創設し、助成金限度額を拡充して推進する。

建設課

- ▽ 安心・安全・快適な道路サービスを提供するため、国の交付金事業等を活用し、定期点検及び計画的な対策を図る。
- ▽ 坊沢大橋の老朽化対策は、国の補助事業を活用し、34年度の完成を目標に、集中的に対策を講じる。
- ▽ 老朽化している除雪機械を更新するとともに、地域の実情に即したきめ細かな除排雪を実施する。

上下水道課

- ▽ 30年度にスタートする森吉・合川上水道事業の効率的な運営を目指し、会計制度の移行に取り組む。
- ▽ 新鷹巣浄水場は、32年度の完成を目指し実施設計業務に取り組む。
- ▽ 公共下水道事業は、市民の健康で

消防本部

- ▽ 複雑化・多様化する災害に適切に対応するため、消防資源を有効活用し、市民の安全確保を図る。
- ▽ 救急車(森吉分署)及び防火指導車を更新し、救急救命士を養成するなど、救急体制の強化を図る。
- ▽ 各分団とも厳しい状況にある消防団員の確保は、住民が協力して災害に備えるメリットなどを訴え、若者の加入促進に努める。

教育委員会 総務課

- ▽ 「北秋田市小中学校適正規模・配置再編プラン」に基づき、老朽化した校舎・設備への対応に努める。
- ▽ 給食センターと学校が連絡を密にし、食物アレルギー事故防止の徹底を図る。
- ▽ あきたリフレッシュ学園は、不登校児童生徒の対応と、長期及び短期の教育留学を県と連携して進め、本市の特徴としてアピールする。

学校教育課

- ▽ 一人一人の子どもに目が行き届く、きめ細かな指導の実践を通し、確かな学力の定着を図る。
- ▽ 地域との交流の機会を拡充し、将

来、地域を支えていこうとする自覚と高い志をもった子どもの育成を目指す。

生涯学習課

- ▽ 地域で家庭教育を応援するため、家庭教育支援チーム事業を実施する。今年度は、支援員として地域人材を養成して体制を整える。
- ▽ 北秋田市民ふれあいプラザは、市民に愛される集いの場の拠点として、憩い・交流・にぎわいを創出し、市民との協働活動を図る。
- ▽ 伊勢堂岱遺跡は、新ロゴマークや専用ホームページを活用して積極的に広報し、国内外に縄文遺跡の価値を発信する。

スポーツ振興課

- ▽ 市の宿泊施設及び体育施設等を利用したスポーツや文化活動等の合宿を行う団体に、経費の一部を補助する、市スポーツ・文化合宿等誘致促進事業を実施し、交流人口の拡大による地域活性化を図る。
- ▽ 100キロチャレンジマラソンは、30年度の開催が決まったことから、大会の継続に向け実行委員会と情報共有を図り、支援していく。